

【ユニット】 医学英語

【ユニットディレクター】

UD：藤森 千尋（教養教育）

UD 補佐：Chad Godfrey（教養教育） 伊澤 宜仁（教養教育） 林 禅之（教養教育） 周防 諭（薬理学）

【一般的な目標】

医師に求められる英語力には、基本的な医学用語の理解力と表現力がまず必要である。医学論文や医学研究に関する情報誌および関連ウェブサイトなどの英文情報資料を読解することは、医師になって診療のために最新の医学情報を入手する際に必須のスキルである。さらに、社会の国際化に伴い、英語を話す患者さんとの接触の機会が増え、他国の医療関係者とのコミュニケーションの場が増加するなど、医療に関する知識を基礎に英語を用いて交流を行う機会はますます増える。

したがって、本ユニットの目標は、2年次の医学英語で身につけた英語運用能力を更に発展させ、目的や必要性に応じて医学・医療に関する情報を収集し、臨床の現場において英語を用いたやり取りができるようになることを目標とする。

【具体的な目標】

1. 医学情報資料（教科書、論文、雑誌記事など）を読解し、正確な情報を入手できる。
2. 学習した基本的な疾患について理解し説明することができる。
3. 医師としての立場を理解し英語を話す患者に対し適切な英語を使用することができる。

【学習方法】

1. 読解コース：既習の臨床医学の内容についての英文資料を読解し、内容をまとめる。1時間程度の予習・復習を必要とする。課題作成のために、必要に応じてノート PC やタブレットを用意する。課題や定期試験のフィードバックについては、授業内での解説や WebClass での講評にて行う。
2. Communication コース：20名程度の少人数グループに分かれ、日常に行われる患者と医師の会話表現について学習する。簡単で典型的な会話例を覚え、最終授業においてプレゼンテーションの試験を行う。

【評価方法】

医学英語は演習科目のため、出席が75%に満たないものは評価の対象とならない。読解コースと Communication コースは、筆記試験やプレゼンテーション試験及び平常点（出席状況、授業参加、課題の提出、医学英単語テストなど）で、それぞれ100点満点で評価され、読解コースと Communication コースの平均が65点以上を合格とする。

【教科書】

- ◆ 事前に WebClass に講義資料がアップされるので、各自、ダウンロードして授業に備える。

【参考書】

- ◆ 授業にて必要に応じて指示する。

【授業予定表】

X グループ：4 限に読解、5 限に Communication の授業を受ける

Y グループ：4 限に Communication、5 限に読解の授業を受ける。

授業内容は、読解も Communication も 2 週で 1 セットになっており、2 週にわたってひとつの題材・テーマについて学習する。

	月日	曜日	時限	講義名	担当者
医学英語 1	09月06日	(金)	4～5	読解/Communication 1(1)	Godfrey (教養教育) 藤森 (教養教育) 伊澤 (教養教育) 林 (教養教育) 小澤 (放射線科)
医学英語 2	09月13日	(金)	4～5	読解/Communication 1(2)	Godfrey (教養教育) 藤森 (教養教育) 伊澤 (教養教育) 林 (教養教育) 小澤 (放射線科)
医学英語 3	09月20日	(金)	4～5	読解/Communication 2(1)	Godfrey (教養教育) 藤森 (教養教育) 伊澤 (教養教育) 林 (教養教育) 中山 (消化器肝臓内科)
医学英語 4	10月04日	(金)	4～5	読解/Communication 2(2)	Godfrey (教養教育) 藤森 (教養教育) 伊澤 (教養教育) 林 (教養教育) 中山 (消化器肝臓内科)
医学英語 5	10月18日	(金)	4～5	読解/Communication 3(1)	Godfrey (教養教育) 藤森 (教養教育) 伊澤 (教養教育) 林 (教養教育) 周防 (薬理学) 丸山 (薬理学)
医学英語 6	11月08日	(金)	4～5	読解/Communication 3(2)	Godfrey (教養教育) 藤森 (教養教育) 伊澤 (教養教育) 林 (教養教育) 周防 (薬理学) 丸山 (薬理学)
医学英語 7	11月22日	(金)	4～6	まとめ	Godfrey (教養教育) 藤森 (教養教育) 伊澤 (教養教育) 林 (教養教育)

【備 考】

読解については、1 時間程度の予習・復習が必要。